

平成19年8月7日掲載

セメントに

高濃度クロム

麻生製有害物質溶出も

麻生ラファージュセメ

ント(福岡市)は六日、

太平洋セメントに供給し

たり、直接販売したりし

たセメントや固化材に、

平均で通常の約三倍の濃

度のクロムが含まれてい

たと発表した。地盤改良
工事に使うと、有害な六
価クロムが工事後の改良
土から環境基準を超えて
溶け出す可能性を否定で
きないとしている。

この製品は麻生ラファ
ージュセメントが田川工
場(福岡県田川市)で生
産し、今年二月から三月
にかけて出荷したセメン
ト二種類と、セメント系
固化材。地盤改良用には
計一万五千五百五十七ト
を出荷し、うち太平洋セ
メント向けが四千五百十
八トだという。両社の出
荷地域は九州各県と山
口、島根両県。

両社は今後、地盤改良
工事に使った顧客に連絡
し、現地調査などを実施
する。建築用や土木工事
の生コンクリートとして
用いた場合には問題ない
という。

麻生ラファージュセメ
ントは、三月に社内の検
査で高濃度のクロムが含
まれた製品があることを
把握したが、当時の調査
では安全面や環境面で問
題はないと判断。事実を
公表しなかった。六月に
入り太平洋セメントの顧
客から指摘があり再調査
した。